

化学物質安全データシート (MSDS)

会 社 株式会社ニチレイバイオサイエンス
住 所 東京都中央区築地 6-19-20
担当部署 品質保証部
電話番号 03 - 3248 - 2208
FAX 番号 03 - 3248 - 2243
緊急連絡先 同上
作 成 2005 年 4 月 1 日
改 訂 2010 年 8 月 10 日 *

MSDS No. 415131

製品名 水溶性封入剤

物質の特性

単一製品, 混合物の区別 : 混合物
化学名 ポリビニルピロリドンと水の混合物
成分及び含有量 ポリビニルピロリドンが 50%含まれている。*
化学式/分子量 $(C_6H_9NO)_n$
化審法公示番号 6-1048
CAS No. 9003-39-8
国連分類 ----- 国連番号 -----

危険・有害性の分類

分類の名称 該当しない。
危険性 通常状態では危険性はない。
有害性 吸入、経口摂取により頭痛、吐き気、めまいなどを引き起こす可能性がある。
環境影響 データなし。

応急措置

眼に入った場合 直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合 付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合 新鮮な空気の場所に移し、充分うがいさせる。安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
誤飲した場合 意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置

消火方法 関係者以外は安全な場所に退去させ、火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行い、状況に応じて呼吸保護具を着用する。
消火剤 水, 粉末, 炭酸ガス, 乾燥砂。

漏洩時の措置

・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用器材を準備する。作業の際にはゴム手袋, 防塵マスク, 保護眼鏡等を着用し、皮膚に付着したり、吸入し

MSDS No. 415131

- たりしないようにし、風下で作業をしない。
- ・飛散したものは、乾燥砂、土、不燃性吸着剤等に吸収させて、密閉できる空容器に出来るだけ回収し、残りは大量の水を用いて洗い流す。
- この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

取り扱いおよび保管上の注意

- | | |
|------|---|
| 取り扱い | <ul style="list-style-type: none"> ・水溶性永久封入剤は、硬化すると黄色から無色に変化する。 ・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。 ・取り扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。 ・漏れ、あふれ、飛散しないようにする。 ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。 |
| 保管 | <ul style="list-style-type: none"> ・保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。 ・ボイラー等熱源付近や可燃性の近くに置かない。 ・容器は直射日光を避け、2-8℃で保存する。 |

暴露防止措置

- | | |
|------|---|
| 管理濃度 | ----- |
| 許容濃度 | ----- |
| 設備対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。 ・取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。 |
| 保護具 | 通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。 |

物理／化学的性質

- | | |
|------|--------------|
| 外観等 | 粘性の液体 |
| 蒸気比重 | ----- |
| 沸点 | 100℃ |
| 蒸気圧 | 17mmHg (20℃) |
| 融点 | - 1℃ |
| 比重 | 1.5 |
| 溶解性 | 水に可溶、有機溶媒に不溶 |

- | | | |
|--------|----------|-------|
| 危険性情報 | 安定性, 反応性 | データなし |
| 環境影響情報 | | データなし |

- | | | |
|-------|------|-------|
| 有害性情報 | 急性毒性 | ----- |
| | 慢性毒性 | ----- |
| | 変異原性 | ----- |
| | がん原性 | ----- |
| | 刺激性 | ----- |

廃棄上の注意 焼却炉で少量ずつ焼却廃棄する。または、廃棄物業者へ委託して処理する。

輸送上の注意 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。容器は直射日光を避け、2-8℃で保存し、輸送する。

適用法令

備考

研究用試薬

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。
含有量、物理化学的性質の値は保証値ではなく、記載の内容は随時改訂されることがあります。